

2026年7月10日

PRESS RELEASE

株式会社AOKIホールディングス

**AOKIホールディングス、国際的イニシアティブ「SBTi」の認定を取得  
— 2030年度までに自社拠点の排出量を42%削減（2022年度比） —**

株式会社AOKIホールディングス（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：田村春生）は、当社グループの温室効果ガス排出削減に関する短期目標が、国際的な気候変動イニシアティブである「SBTi（Science Based Targets initiative）」より、パリ協定が目指す「1.5℃目標」の基準に適合しているとして、2026年5月21日に正式にSBTi認定を取得しました。



SBTiは、CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）の4団体が共同で設立された国際的な枠組みです。SBT（science-based targets）は、パリ協定で定められた「産業革命前からの気温上昇を1.5℃に抑える」という国際目標を達成するために、科学的根拠に基づきSBTiが認定する温室効果ガス排出量削減目標を指します。今回の認定取得は、当社グループの削減目標がこの国際的な科学基準に適合していると評価されたものです。

今後もAOKIグループでは、目標達成に向けた取り組みを強化し、脱炭素社会の実現に向けて貢献してまいります。

**■ 認定取得概要**

認定名称：science-based targets（SBT）

認定主体：Science Based Targets initiative（SBTi）

基準年：2022年

削減目標：Scope 1・2排出量について、2022年を基準として2030年までに42.0%削減

Scope 3排出量：2024年を基準として2030年までに25.0%削減

認定日：2026年5月21日

**■ AOKIホールディングスについて**

1958年に紳士服の外資として創業以来、「社会性の追求」「公益性の追求」「公共性の追求」の3つの経営理念を掲げ、企業活動を推進。現在は、ファッション事業に加え、エンターテインメント事業、アニヴェルセル・ブライダル事業を中心としたグループの戦略構築および各事業を支援（純粋持株会社）。時代の変化に対応し、「人々の喜びを創造する」を事業コンセプトとして打ち立て、持続可能な社会実現のため“モノとコトを創造する企業グループ”として社会に貢献しています。